



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ノダ
コード番号 7879 URL <http://www.noda-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野田 章三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 辻村 力

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日 配当支払開始予定日 平成25年8月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

TEL 03-5687-6222

平成25年8月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	27,026	6.4	1,358	19.0	1,393	36.2	954	△7.7
24年11月期第2四半期	25,389	6.6	1,141	△17.6	1,023	△28.1	1,034	266.9

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 1,750百万円 (58.0%) 24年11月期第2四半期 1,107百万円 (343.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	63.24	—
24年11月期第2四半期	68.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第2四半期	42,472	15,299	33.4	940.76
24年11月期	40,829	13,606	31.1	840.45

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 14,201百万円 24年11月期 12,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	3.75	—	3.75	7.50
25年11月期	—	5.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	4.1	2,250	0.0	2,200	2.7	1,470	△55.9	97.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期2Q	17,339,200 株	24年11月期	17,339,200 株
② 期末自己株式数	25年11月期2Q	2,242,975 株	24年11月期	2,242,975 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期2Q	15,096,225 株	24年11月期2Q	15,096,225 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。上記の業績予想に関連する事項につきましては、添付資料の4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年12月1日～平成25年5月31日)の国内経済は、昨年末の政権交代による景気回復への期待感や、大幅な金融緩和、急激な円安による輸出型企業を中心とした企業業績の回復、株価上昇などもあり、個人消費は概ね堅調に推移いたしました。

住宅需要につきましては、雇用情勢や所得環境は依然として厳しい状況が続いておりますが、低水準な住宅ローン金利や政府による各種住宅取得支援策、震災の復興需要及び消費税増税前の駆け込み需要の一部顕在化などもあり、新設住宅着工戸数は堅調に推移いたしました。

このような状況のもと、当グループは、安心安全ユニバーサルデザイン(UD)など高齢者対応、子育て支援、環境、リフォーム、住宅の長寿命化、ペット共生等をテーマに提案営業に取り組み、引続き床材や建具など主力の建材製品の拡販に努めてまいりました。また、今後の消費税増税による住宅需要の動向を見すえ、コスト管理や在庫管理など各種施策を徹底し、収益力の向上と企業体質の強化に取り組みでまいりました。こうしたなか、為替相場の急激な変動の影響もあり仕入コストや原材料コストが上昇しましたが、堅調に推移する住宅需要を背景に建材製品や合板類の販売数量が増加し、収益をカバーいたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高27,026百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益1,358百万円(前年同期比19.0%増)、経常利益1,393百万円(前年同期比36.2%増)、四半期純利益954百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

◇セグメント別の状況

〔住宅建材事業〕

「UDならノダ」をキャッチフレーズに、足腰への負担や転倒時の危険を軽減する「衝撃吸収フロア ネットシオ」などバリアフリー関連商品による事業展開では、全国各地に展開しているケア連携型バリアフリーのショールームや、木造中規模建築物に対応した金物工法「BIG-MJ SYSTEM」等も活用し、一般住宅のほか、サービス付き高齢者住宅、介護施設など非住宅分野への提案営業も推進しシェアの確保に努めました。

さらに、地震や台風など災害に強い住宅建材の普及にも注力しており、引続き、耐震性能や劣化軽減性能に優れた住宅構造材として構造用MDFの拡販をはかりました。これら住宅建材の原材料は、地球環境問題への取り組みとして、CO₂削減や貴重な森林資源の有効活用をはかる観点から、MDF(中質繊維板)や国産針葉樹合板など、地球環境に優しいリサイクル素材や国産材の活用^注に取り組み、環境問題への関心が高い顧客ニーズの掘起こしに努めました。また、本年7月より申請受付が開始された木材利用ポイント制度においては当社製品も登録建築材料として認定・登録され、さらなる国産材活用を推進しています。

こうしたなか、為替相場の急激な変動の影響もあり、原材料価格が上昇しコストアップ要因となりましたが、堅調に推移する住宅需要を背景に主力の建材製品の販売数量が増加し、収益をカバーいたしました。これらの結果、住宅建材事業の売上高は18,473百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は1,488百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

〔合板事業〕

合板事業につきましては、急激に変動する為替相場の影響もあり、仕入コストが上昇し収益が圧迫されましたが、堅調に推移する住宅需要を背景に国産針葉樹合板、輸入南洋材合板とも販売数量が増加し、また国内合板相場も堅調に推移いたしました。

これらの結果、合板事業の売上高は8,553百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益は532百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

〈セグメント別売上高及び損益〉

	売上高 (百万円)	前年同期比 (%)	構成比 (%)	セグメント利益※ (百万円)	前年同期比 (%)
住宅建材事業	18,473	4.6	68.4	1,488	15.1
合板事業	8,553	10.8	31.6	532	10.8
調整額	—	—	—	△662	—
合計	27,026	6.4	100.0	1,358	19.0

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去、並びに各報告セグメントに配分していない全社費用です。

注.. 当社は静岡県が推進する「ふじのくに森林・林業再生プロジェクト」に呼応し、当社の富士川事業所敷地内に合板工場を建設する旨の検討を開始いたしました。
 なお、詳細は当社ホームページ (<http://www.noda-co.jp/>) に掲載しております別紙「合板工場の新設に関する検討開始について」をご覧ください。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は42,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,643百万円増加いたしました。その主なものは、製品の増加966百万円、投資有価証券の増加951百万円、原材料及び貯蔵品の増加239百万円、リース資産の増加230百万円、その他に含まれる未収入金の減少414百万円、繰延税金資産の減少169百万円、受取手形及び売掛金の減少131百万円などによるものです。

負債は27,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。その主なものは、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少903百万円、支払手形及び買掛金の増加504百万円、リース債務の増加230百万円、長期借入金の増加168百万円などによるものです。

純資産は15,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,693百万円増加いたしました。その主なものは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加954百万円、為替換算調整勘定の増加369百万円、その他有価証券評価差額金の増加232百万円、少数株主持分の増加179百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少56百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ90百万円減少し、7,329百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動におけるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が1,391百万円となり、減価償却費の計上による599百万円の増加や、たな卸資産の増加による1,248百万円の減少、仕入債務の増加による504百万円の増加、未払消費税の減少による145百万円の減少、その他の増加による435百万円の増加、法人税等の支払いによる298百万円の減少などの要因から、1,254百万円の収入(前年同期は1,177百万円の収入)となりました。

(投資活動におけるキャッシュ・フロー)

投資活動におけるキャッシュ・フローは、設備投資など有形固定資産の取得による555百万円の減少などの要因から、587百万円の支出(前年同期は2,120百万円の支出)となりました。

(財務活動におけるキャッシュ・フロー)

財務活動におけるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減による755百万円の減少、長期借入れによる500百万円の増加、長期借入金の返済による479百万円の減少などの要因から、757百万円の支出(前年同期は660百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想に影響を及ぼす事項には、今後の消費税増税による住宅需要の動向や震災からの復興需要、木材利用ポイント制度の影響、また、合板相場や想定を超える円安など様々な要因もございます。なお、当第2四半期の連結業績は期初に発表した予想を上回る結果となりましたが、不安定な為替相場の動向による原材料費の上昇懸念等もふまえ、平成25年11月期通期の連結業績予想は、現時点では前回発表(平成25年1月18日発表)した内容を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,617,752	7,537,398
受取手形及び売掛金	8,507,824	8,375,838
製品	5,071,328	6,037,391
仕掛品	826,683	851,084
原材料及び貯蔵品	1,605,632	1,845,193
繰延税金資産	580,293	547,291
その他	1,241,076	802,692
貸倒引当金	—	15,000
流動資産合計	25,450,591	25,981,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	1,978,793	1,960,067
機械装置及び運搬具 (純額)	3,056,851	3,041,993
工具、器具及び備品 (純額)	155,145	147,190
土地	4,468,941	4,484,087
リース資産 (純額)	72,946	96,679
建設仮勘定	56,907	131,294
有形固定資産合計	9,789,586	9,861,313
無形固定資産		
リース資産	9,328	216,430
その他	69,461	79,294
無形固定資産合計	78,789	295,724
投資その他の資産		
投資有価証券	3,567,684	4,519,537
長期貸付金	48,738	38,660
繰延税金資産	1,221,429	1,084,950
その他	674,541	692,728
貸倒引当金	2,000	2,000
投資その他の資産合計	5,510,393	6,333,876
固定資産合計	15,378,769	16,490,915
資産合計	40,829,360	42,472,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,516,701	8,021,370
短期借入金	9,093,285	8,189,814
1年内償還予定の社債	70,000	—
リース債務	32,563	83,933
未払金	1,310,592	1,283,868
未払法人税等	352,905	355,125
未払消費税等	179,501	34,333
設備関係支払手形	364,153	438,455
その他	945,465	952,094
流動負債合計	19,865,168	19,358,996
固定負債		
社債	—	130,000
長期借入金	2,152,237	2,320,269
リース債務	53,369	232,346
繰延税金負債	179,164	179,647
退職給付引当金	4,565,806	4,567,367
役員退職慰労引当金	382,020	375,780
資産除去債務	25,316	8,531
固定負債合計	7,357,913	7,813,942
負債合計	27,223,082	27,172,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,141,000	2,141,000
資本剰余金	1,587,822	1,587,822
利益剰余金	10,101,492	10,999,618
自己株式	994,578	994,578
株主資本合計	12,835,736	13,733,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,170	330,803
繰延ヘッジ損益	1,945	16,137
為替換算調整勘定	248,228	121,084
その他の包括利益累計額合計	148,112	468,025
少数株主持分	918,654	1,097,977
純資産合計	13,606,278	15,299,865
負債純資産合計	40,829,360	42,472,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	25,389,988	27,026,839
売上原価	18,894,997	20,154,205
売上総利益	6,494,990	6,872,634
販売費及び一般管理費	5,353,913	5,514,470
営業利益	1,141,076	1,358,164
営業外収益		
受取利息	7,647	7,635
受取配当金	8,542	8,987
受取保険金	12,607	26,967
持分法による投資利益	—	114,414
その他	47,859	28,708
営業外収益合計	76,656	186,713
営業外費用		
支払利息	98,797	77,578
売上割引	17,936	22,841
売上債権売却損	33,603	31,471
持分法による投資損失	40,682	—
その他	3,512	19,458
営業外費用合計	194,532	151,349
経常利益	1,023,200	1,393,527
特別利益		
補助金収入	93,749	—
特別利益合計	93,749	—
特別損失		
固定資産除却損	1,924	1,793
特別損失合計	1,924	1,793
税金等調整前四半期純利益	1,115,025	1,391,734
法人税、住民税及び事業税	18,353	312,192
法人税等調整額	38,784	36,942
法人税等合計	20,430	349,135
少数株主損益調整前四半期純利益	1,135,456	1,042,599
少数株主利益	100,904	87,862
四半期純利益	1,034,552	954,737

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,135,456	1,042,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,883	232,890
繰延ヘッジ損益	22,786	14,191
持分法適用会社に対する持分相当額	21,701	460,516
その他の包括利益合計	27,968	707,598
四半期包括利益	1,107,487	1,750,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,002,293	1,570,874
少数株主に係る四半期包括利益	105,194	179,323

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,115,025	1,391,734
減価償却費	698,647	599,691
役員退職慰労引当金の増減額 (は減少)	10,190	6,240
補助金収入	93,749	—
固定資産除却損	1,924	1,793
受取利息及び受取配当金	16,189	16,622
支払利息	98,797	77,578
持分法による投資損益 (は益)	40,682	114,414
売上債権の増減額 (は増加)	497,335	131,986
たな卸資産の増減額 (は増加)	669,863	1,248,922
仕入債務の増減額 (は減少)	404,918	504,668
未払消費税等の増減額 (は減少)	5,965	145,167
その他	72,686	435,534
小計	1,336,154	1,611,618
利息及び配当金の受取額	32,344	13,370
利息の支払額	97,535	71,638
法人税等の支払額	35,987	298,471
災害損失の支払額	1,146,436	—
補助金の受取額	1,088,935	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,177,474	1,254,878
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	10,000	10,000
投資有価証券の取得による支出	19,083	602
有形固定資産の取得による支出	2,068,281	555,287
貸付けによる支出	1,998	3,130
貸付金の回収による収入	13,110	33,612
その他	34,276	51,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,120,528	587,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (は減少)	726,590	755,470
長期借入れによる収入	300,000	500,000
長期借入金の返済による支出	311,710	479,968
社債の発行による収入	—	130,000
社債の償還による支出	—	70,000
リース債務の返済による支出	16,825	25,799
配当金の支払額	37,740	56,610
財務活動によるキャッシュ・フロー	660,314	757,848
現金及び現金同等物に係る換算差額	203	23
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	282,942	90,354
現金及び現金同等物の期首残高	6,760,024	7,419,752
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,477,081	7,329,398

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。